

平成 13 年 10 月 23 日

川崎市長 高 橋 清 様

川崎市事業評価検討委員会
会長 黒川 和美

平成 13 年度再評価実施事業の審議結果について

平成 13 年 8 月 2 日、貴職から「国土交通省、経済産業省及び厚生労働省所管公共事業の再評価実施要領」に基づき依頼のありました国庫補助事業に係わる再評価実施事業に対する対応方針案について、2 回にわたり委員会を開催し審議した結果を次のとおり報告いたします。

1. 委員会は、まず貴市関係局から、平成 13 年度再評価実施事業（国庫補助事業）の 7 事業について、市の対応方針案等の説明を受け不明な点などについて質すとともに慎重に審議した。
2. この結果、事業をめぐる状況等を総合的に勘案し「継続」とする市の対応方針案は妥当と判断した。
3. なお、上記の判断に係わらず、今後事業を継続するうえで、次の点に配慮すべきであると考えるので付言する。

住宅市街地整備総合支援事業費補助（川崎駅西口地区）

- ・ 権利者などとの合意に時間を要したこととあわせて、計画区域内にある大規模敷地地権者の事業計画や事業実施時期が未定である地区が含まれることから、事業が長期化している。しかし、市の整備すべき事業は計画どおり進んでいる。
- ・ 今回対象となる国庫補助事業だけではなく、この地域を含む周辺地域との総合的な公共事業が実施されるよう周辺道路との一体的整備を含めて総合的に評価する視点も今後必要と考える。
- ・

宮内新横浜線（中原）

- ・ 新設道路を整備する場合、既存の生活道路を数多く横断することになるので、交差や寸断される生活道路との機能連携についても十分考慮する必要がある。

東京大師横浜（大師橋）

- ・ 工事期間が渇水期に限られることや全面通行止めによる架け替えが出来ないため長期化しているが、事業は計画どおり順調に進行している。

都市基盤河川改修事業（平瀬川支川）

- ・ 急激な都市化や近年の気象の変化による都市部特有の浸水被害が予想されることから、河川改修だけでなく貯留施設なども含めた総合的な治水対策が必要である。

都市基盤河川改修事業（五反田川放水路）

- ・ 放水路の完成により、浸水被害からの軽減が図られる効果とあわせて、下流域については、河川改修をしなくても将来計画である時間雨量 90mm まで対応可能な地域になることを説明する必要がある。

川崎市工業用水道改築事業

- ・ 取水施設から送水施設までの老朽化した工業用水道施設の更新を図ることは、安定的な工業用水の供給を確保するうえで必要と考える。

水道水源開発施設改築事業費（相模貯水池大規模建設改良事業）

- ・ ダムの貯水容量を安定的に確保するために長期的、継続的に土砂を除去する事業であることは理解できる。今後については、そのプロセスで新しい技術動向を踏まえより効果的な方法を検討する必要がある。
- ・ 水源確保に際し、ダム浚渫の費用負担のあり方、事業期間の設定の仕方について、関連自治体は、共同で合理的な方式をつねに検討していく必要がある。

（以上）